

事務事業評価(事前評価)シート【平成29年度】

主管課(担当名)	教育総務課(総務担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	小学校トイレ整備事業	事業番号	12680

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-6	教育環境の整備
	施策目標	子どもたちが安心して学ぶことができる良好な教育環境が確保されたまち	

2 事務事業の目的

目的	近年、家庭や事業所等においてトイレの洋式化が進み、和式トイレを使えない児童・生徒が増えており、トイレを我慢することによる体調不良などが問題となっていることから、児童生徒の教育環境改善のため改修を実施する。
成果	洋式化により子どもたちが快適にトイレを使えるようにするとともに、老朽化した照明器具や床、手洗い場の改修を行い、安心して学べる教育環境を整備する。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	北斗小学校の既存和式トイレを洋式に変更するとともに、照明器具の取替、床張替、手洗い場の改修を実施する。(各階1箇所は和式を残す)						
	28							
	29							
	30							
	31							
31								
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費				45,420			45,420
	内訳	国庫支出金			14,784			14,784
		道支出金						
		地方債			29,100			29,100
		その他						
		一般財源			1,536			1,536
	人員(人工)				0.33			
職員費(人員×7,696千円)				2,540				
総事業費				47,960			45,420	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H28)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	小学校における洋式トイレの整備率	51.2%	69.1%	89.0%

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	洋式化により子どもたちが家庭に近い環境でトイレを利用できるとともに、老朽化した床や水回りを改修することにより衛生的で快適な空間を提供できる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 児童生徒、教職員からトイレの洋式化や環境改善に関する強い要望がある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 施設管理者としての責務であるため、市が実施主体となる。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 教育環境改善のため対応は早期の対応が望まれている。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 施設管理者としての責務であり、適切である
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 小学校に通う全児童が対象である。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 一日の大半を過ごす学校施設を保全・改修することは、子どもたちが安心して学ぶことができる良好な教育環境が確保されるため、有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 公共施設等総合管理基本方針等を踏まえ、円滑な事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 学校施設環境改善交付金の当初採択を見送られたが、引き続き、北海道教育委員会を通じ交付金の追加採択に向け事務を進め、平成29年度中に着手できるよう努めていく。

作成年月 平成29年6月